

文芸欄



俳句

紅梅会 (東灘区)

ひまわりの熱気に負けし歩の重み
六甲の新凜の風心地よき
立秋や空見上げ小ば月朋け
過ぎし日庭に停む花芙蓉
垣根越へ花芙蓉の日の高さ
宇宙への挑戦やまず月の夜
石山の光芒と萩筆の路
荷物整理母の秋の句胸をうつ
日を抱きて花の光りて風の波

光子 里子 扶喜子 比佐美 松子 早智子 朋子 美恵子 恵

宝愛くらぶ (中央区)

秋暑しロシア進攻早や三年
またもやか水禍の地向け祈るなり
初秋やほつと一息紅茶飲む
初秋を夫に寄り添ひ散策す
味深しのどごしツルリ新豆腐
新豆腐猪口は馴染よ杯重ね
天に抜け波を叩くやボラの群れ

和子 悦子 千枝子 道子 静 和志

梅の美会 (兵庫区)

群をなし指立てて見る赤とんぼ
どこからかくしゃみの音する秋花粉
丹波路の刈田をわたる風の音
冬めきて何やら怪しい夜の膳

藤井歌子 山田朝子 栗野富江 藤田ユイ子

高原ささゆり会 (北区)

去年今年新幹線の早さかな
ささやくは斜面うずめる草もみじ

笠井照子 尾崎順子

高原ささゆり会 (北区)

群青の空に輝く名月の金木犀の香りを添えて

開聞の朝焼けに消ゆ特攻の生きて帰れの願いよ届け

潮風や来たよ万博故郷の香リング登れば気分はヤッホー

影ばかり大きくなりて我を呑むヤッテランナイヨってやりによ

桃山台クラブ文芸部 (垂水区)

秋陽照る畦に群れ生い赤赤と燃ゆるがごとく彼岸花咲く

女孫二人万博至りて暑きに待つも入館たのしむ写真次々

佐藤伸二郎 佐藤かなめ 南久美子 中井裕子 堀江千生子 柴山希美子

凍えたる頬手足指目に朝陽
平穏な日々こそ来たれ松飾
山小屋の朝あたらしき雪を踏み
肩すぼめ深く湯に入る寒の月
金木犀落花の下で眠りたし

佐藤伸二郎 若林節子 松村二三枝 南久美子 中井裕子

ひまわり句会 (北区)

米作り午後も午後汗のシャツ
秋野菜孫と植えたのよくなった

辻寿賀子 石井敏子

ひよどり台句会 (北区)

体調は一進一退残暑かな
暑さ耐え老い行く日々回復待つ
山に来て野原一面キスグ咲く
ぬけがらの服吊るされたり秋の夜
調査票配る細道萩乱る

矢谷登美子 塩見光子 田中弘子 筒井豊子 中井光子

北斗句会 (北区)

後戻り出来ぬ人生空き遍路
連れ添いて米寿傘寿よ菊の酒
松島や人住む島の秋灯
義民の碑永久に寄り添ふ彼岸花
曼珠沙華まだ燃えるもの躬の内に
曼珠沙華軌道の跡を埋めにけり
月白や戦ぐこの世の暗さかな
幼きひ近寄り難き彼岸花

岸下正二 久松礼子 増田嗣夫 秋山弘之 松本洋子 坂本宏信 金行隆 山崎美雪

見山台新樹会 (北区)

知らぬ間に狭庭一面萩の花
自転車投げ捨て児等の夏休み
秋暑し黄色の傘を旅の荷に
窓辺来て鳴き尽したる法師蟬
畑仕事終わりに美味むかご飯
峯の雲流れ水無月梅雨あけて

丸尾嘉子 高石勝行 貞永弘子 松隈弘子 石本宏一 佐溝満喜子

五色山健寿会 (垂水区)

またと云ふ日の無きことや曼珠沙華
月白や天心仰ぐ舞子浜
女子会のさざめきやみて青蜜柑
ひよどりの叔母の墓参へ地図を手に
秋風が戸に連れ出すやゴッホ展
眼裏に金色敷きて麦を蒔く
老いの指若き酢桶を搾りきる

智子 眞みこ 波音 くに子 多美子 穂花 淡峡

桃山台クラブ文芸部 (垂水区)

芒原盗つ人萩の裾や肘
夕映えに色づく柿や目に優し

田畑美恵子 大上昭敏

個人

朝食やバターも秋の香モーニング(灘)
刈り取らる畦に深紅の彼岸花(須)

福井悦子 佐山美代子

川柳

深江親交クラブ (東灘区)

雨上がり危険な道路車椅子
年賀状ほんとは少くなく我が友よ
今出来ぬ落葉焼き芋懐かしい
クーラーと共に過した永い夏
目の前にあるのに探す爪切りを
秋の虫泣く間もなく冬が来た
謎だらけ地球はボール宙に浮く
いらっしやい孫を迎えて消える栄一
恋文を束ねりポンを蝶結び

林芳一 増田芳之 森和子 津田正江 三島茂子 村瀬武子 東方輝子 清水育子 小田節子

桂木ひふみ会 (北区)

老いは難儀生きる重さを考える
時は今鏡を脱いで素に戻る
当選で特等当り米五キロ
朝っぱらから頭重いよアリナミン
積み重ね日々の研究賞となる

京念久美子 元永宣子 杉尾悦子 荒木宗久 笹岡淑子

個人

初時雨衣替える季節もなく冷気に戸惑う朝のバス停

姉百寿ひ孫五ヶ月それぞれの手を振るライン嬉し秋の日

この家の人も免許を返納されたらし空っぽの車庫に猫と花鉢

おはようと夫の遺影に呟いて今日も始まる一人の暮らし

大好きな貴方にそっと届きたいミモザの花とあふれる思いを

二泊してあと一時間で帰途につく胸のどこかに痛みが走る

初時雨衣替える季節もなく冷気に戸惑う朝のバス停 (灘) 上田節子
姉百寿ひ孫五ヶ月それぞれの手を振るライン嬉し秋の日 (兵) 大賀清子
この家の人も免許を返納されたらし空っぽの車庫に猫と花鉢 (北) 乾外志
おはようと夫の遺影に呟いて今日も始まる一人の暮らし (須) 江口啓子
大好きな貴方にそっと届きたいミモザの花とあふれる思いを (須) 蔭山宮子
二泊してあと一時間で帰途につく胸のどこかに痛みが走る (西) 増田當代

筑栄会 (北区)

決まらない回るお寿司のネタ選び
選挙やめなつかしき友にもどる君
マンション高騰タワマン選ぶ富裕層
選ばれるその裏側は悲しみが
レジの列短め選ぶが超遅い!
ダンサーの何故かドレスに弱い俺
うまい酒元気が印がそろう席
老いたかなついでいけな世の進化
課題に「暇」とつさの出任せ後悔しきり

かをる 波音 三茶 なな 波音 菜々

個人

人生にまさかあり真面目に歩む (北) 北野利一
賞味期限少し延ばして老い二人 (須) 久山節子
名医でも先は見えない恋病 (垂) 小高肇
人相が悪いが犬はよく見分け (西) 藤原健二

神戸市シルバーカレッジ 学生募集

57歳以上の市民が学び集う生涯学習施設です。令和8年度(2026)年4月入学生を募集します。



出願期間: 令和8年1月19日(月)~30日(金)(必着)
学生募集要項(願書)はシルバーカレッジ、区役所などでお配りしています。郵送も可能です。学校説明会を1月20日(火)・21日(水)・22日(木)に開催します。
各日2回①10:00~12:00 ②13:00~15:00(事前申込制)

Table with columns for Course, Health/Life, International Exchange, ECC, and Comprehensive Arts. Includes enrollment numbers for each course.

<申し込み・お問合せ先>
シルバーカレッジ事務局 電話078-743-8100
神戸市北区しあわせの村1番16号
詳細は https://kobe-sc.org 右記QRコードにアクセス



シルバーカレッジ で 検索!

あとがき

明けましておめでとうございませう。
2026年がはじまりましたが、いかがお過ごしでしょうか。本年も神戸市老人クラブ連合会はたくさんの方の行事を開催し、皆様が笑顔で過ごせるような一年にしていきたいと考えています。
本年もどうぞよろしくお願いたします。